

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年5月17日

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|------------------------|---------|--------------|
| 団体名 | 所沢市役所 | 代表者名 | 副市長 中村 俊明 |
| 担当者部署 | 経営企画部デジタル戦略課 | 連絡先電話番号 | 04-2998-9036 |
| 担当者役職 | 主査 | 担当者氏名 | 鹿島 慎一 |
| 住所 | 359-8501 埼玉県所沢市並木1-1-1 | | |

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|------------------------------|---|
| アドバイザー | 宮崎 昌美 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に) | 所沢市の総合計画に即して、どのようなDXが推進できるかを具体的にアドバイスいただけ、各部署を束ねる幹部職員が、それぞれの分野で「自分事」としてDXを捉える契機になった。 行政職員出身であるため、行政側の事情や立場を理解した実践的な講演内容であった。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 特になし |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|----------------|--------------|--------------|-------------|-----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日 (申請書より) | 支援内容 (申請書より) | 期日・支援内容の変更あり | | |
| | 令和4年5月16日 | 講演(実地) | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間 (分) |
| | | | 13時00分 | 15時00分 | |
| | | | 活動時間 (分) | 120 | |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 所沢市役所 | 最寄駅 | 西武新宿線 航空公園駅 | |
| | 所在地 | 所沢市並木1-1-1 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 | 人数 |
| | 所沢市特別職、部長級・次長級職員 | 45人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | 全庁的なDXを進めるためには所属を束ねる立場である部長級・次長級職員の理解が不可欠であり、幹部職員の意識向上・機運醸成が課題である。 | |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) | 今、変革 (DX) が必要であることの危機感の共有 経営層として必要なマインドセット、理解・実践すべき事項の伝達 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 幹部職員向けの講演会 (演目: 誰もが「自分事」になった自治体DX) | |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 「DXの重要度・緊急度」の意識をアンケート調査したところ、講演前後で以下のとおり変動し、マインドセットを一定程度変革することができた。 ◆DX重要度・緊急度の講演前後の比較(未回答者がいたため合計値は100%にならない) ①重要度・低、緊急度・低 13% → 3% ②重要度・高、緊急度・低 32% → 10% ③重要度・高、緊急度・高 52% → 84% | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | アンケート結果から、「DXが重要度・緊急度とも高いものである」という意識が浸透し、危機感の共有やマインドセットの変革といった目的は達成できたものとする。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果を添付します。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| 事業の最終的な目指す姿 | 幹部職員によるトップダウン型のDXと全所属が起点のボトムアップ型のDXが渾然一体となって進む状態 | |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



